

# 2015年3月期 第2四半期(上期) 決算説明会

ローランド ディー.ジー.株式会社  
2014年11月10日

Imagine.  Roland®

皆さんこんにちは。ローランド ディー.ジー.株式会社 社長の富岡です。  
本日はお忙しいところ、お時間を頂戴しまして誠に有難うございます。

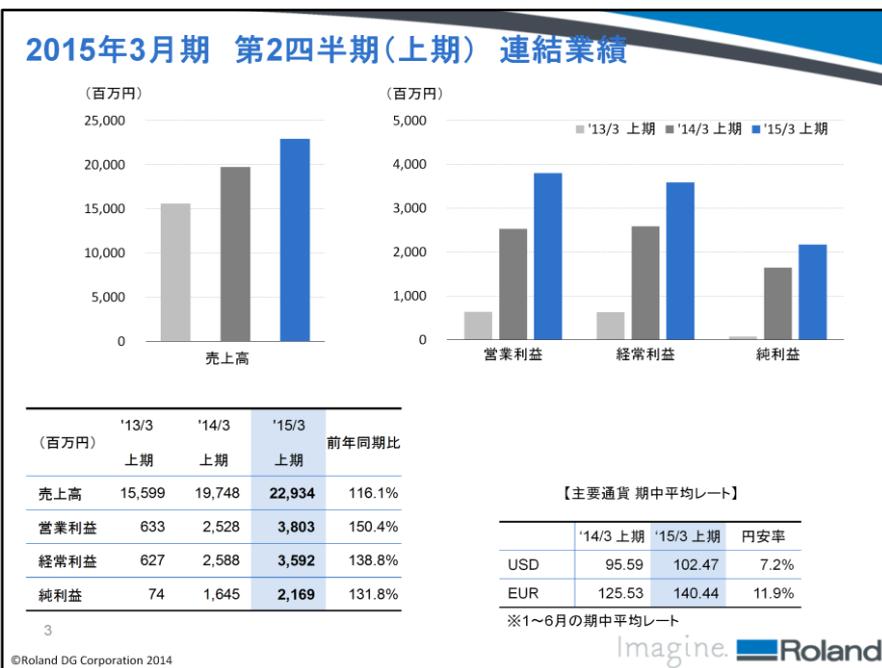
2015年3月期 上期の決算報告をさせていただきます。

# 2015年3月期 上期 連結業績

©Roland DG Corporation 2014

Imagine.  Roland®

はじめに、連結業績よりご報告いたします。



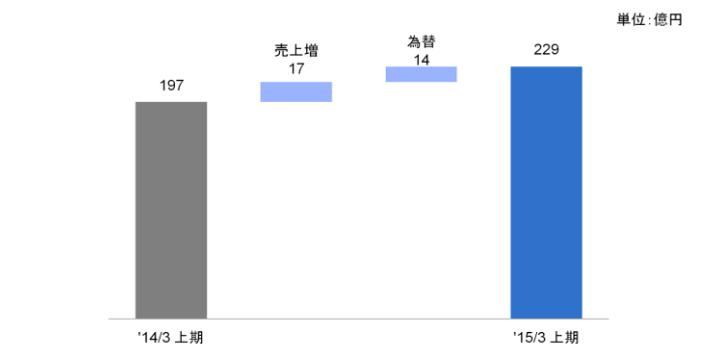
当上期における世界経済は、米国では景気の回復基調が持続し、欧州では、地政学的リスクによる先行き不透明感があったものの、雇用・所得環境や設備投資意欲が改善に向かうなど、明るい兆しも見られました。

アジアでは、中国やインドなどにおいて経済成長の鈍化傾向が続きましたが、日本では、円安や株価の上昇を受け、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。

こうした中、売上高は、前期に投入したプリンターの新製品やデンタル加工機の販売が好調だったことに加え、円安効果もあり、増収となりました。

費用面では、販売費および一般管理費は前年同期に比べ増加したものの、円安による海外子会社の仕入コストの低減効果などにより、原価率が改善いたしました。この結果、営業利益、経常利益ともに増益となりました。なお、デンマーク子会社ののれんの減損損失を2億13百万円計上しましたが、四半期純利益も増益となりました。

## 連結売上高 増減要因 前年同期比



期中平均レート(1-6月、単位：円)

	'14/3 上期	'15/3 上期	円安率		'14/3 上期	'15/3 上期	円安率
USD	95.59	102.47	7.2%	THB	3.21	3.15	△1.9%
EUR	125.53	140.44	11.9%	CNY	15.47	16.65	7.6%
GBP	147.41	171.03	16.0%	KRW	0.0867	0.0979	12.9%
DKK	16.83	18.82	11.8%	BRL	46.10	44.87	△2.7%
AUD	96.92	93.72	△3.3%				

4

©Roland DG Corporation 2014

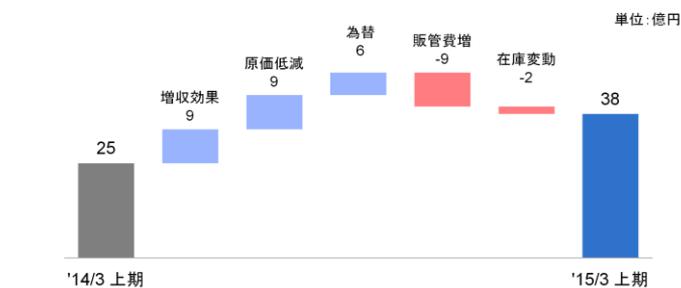
imagine. Roland

売上高を前年同期と比較しますと、

実質的な売上増収分で17億円、  
円安効果により14億円のプラス効果があり、

合計では、31億円の増収となりました。

## 連結営業利益 増減要因 前年同期比



期中平均レート(1-6月、単位：円)

	'14/3 上期	'15/3 上期	円安率		'14/3 上期	'15/3 上期	円安率
USD	95.59	102.47	7.2%	THB	3.21	3.15	△1.9%
EUR	125.53	140.44	11.9%	CNY	15.47	16.65	7.6%
GBP	147.41	171.03	16.0%	KRW	0.0867	0.0979	12.9%
DKK	16.83	18.82	11.8%	BRL	46.10	44.87	△2.7%
AUD	96.92	93.72	△3.3%				

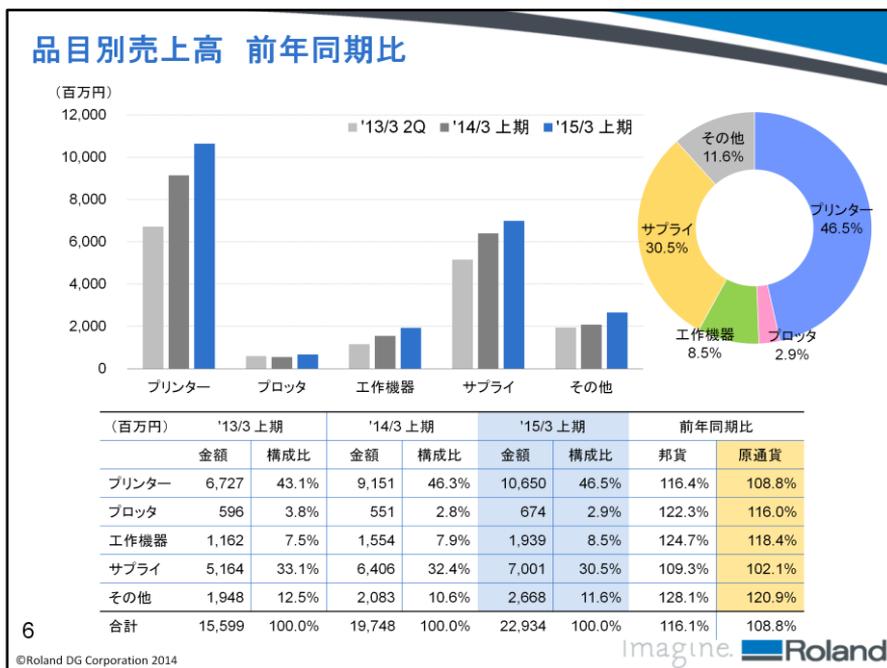
5

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. Roland

次に連結営業利益を前年同期と比較すると、

実質的な増収効果に加えて単体の原価低減や為替円安の効果で  
販管費と在庫変動費用の増加を吸収して、  
合計では、13億円の増益となりました。



つぎに、品目別売上高です。

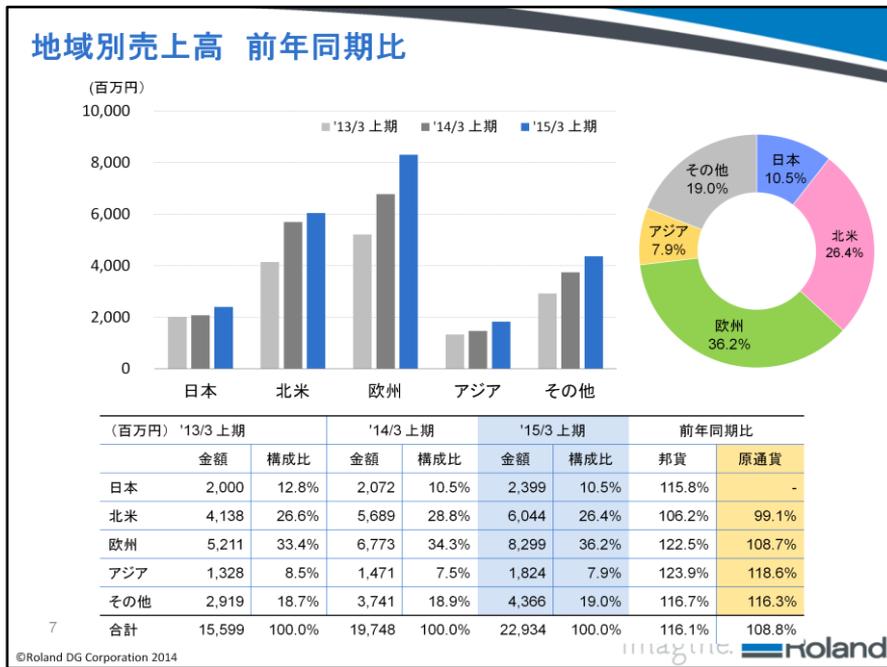
プリンターでは、サイン市場向けのフラグシップモデルのプロ用機種「XR-640」が新製品効果の一巡や厳しさを増す競争環境の影響により伸び悩みましたが、同じくプロ用機種の「XF-640」がテキスタイル用途へ導入が進んだことやUVプリンターの増加により、前年同期比116.4%となりました。

なお、為替影響を除いた実質前年同期比は108.8%でした。

表の右端にあります「原通貨」が為替影響を除いた実質的な前年同期比となっておりますのでご参考にしてください。

工作機器では、デンタル加工機が特に日本や北米で販売が拡大し、工作機器全体で前年同期比124.7%の増加となりました。

またサプライについても、北米、欧州、日本の先進国を中心に伸び、109.3%となりました。



地域別売上高ですが、日本では、主に、デンタル加工機DWXシリーズが今年4月からスタートした一部素材に対する「保険適用開始」により、設備投資需要が増加したことで売上を大きく伸ばし、前年同期を上回りました。

北米では、プリンターのプロ用機種が伸び悩みましたが、主力機種のVS-iシリーズが好調に推移しました。また、デンタル加工機も販売網の整備・拡充が進み大きく伸長しました。これらに加え円安効果もあり、北米地域は前年同期を上回りました。

欧州では、ウクライナ情勢の影響もあり、ロシアや東ヨーロッパにおいて、大きな伸びはみられませんでした。南ヨーロッパ地域においては、景気が回復基調にあり販売が好調に推移しました。さらに円安効果もあり、前年同期比122.5%となりました。

アジアでは、中国や韓国でサイン用プリンターの売上が増加いたしました。また、ASEAN地域では、オーストラリアの子会社による営業サポートの成果も出始め、前年同期比123.9%となりました。

その他地域では、オセアニア地域をはじめ、ブラジルやアフリカなどにおいても堅調な販売となり、前年同期を上回りました。

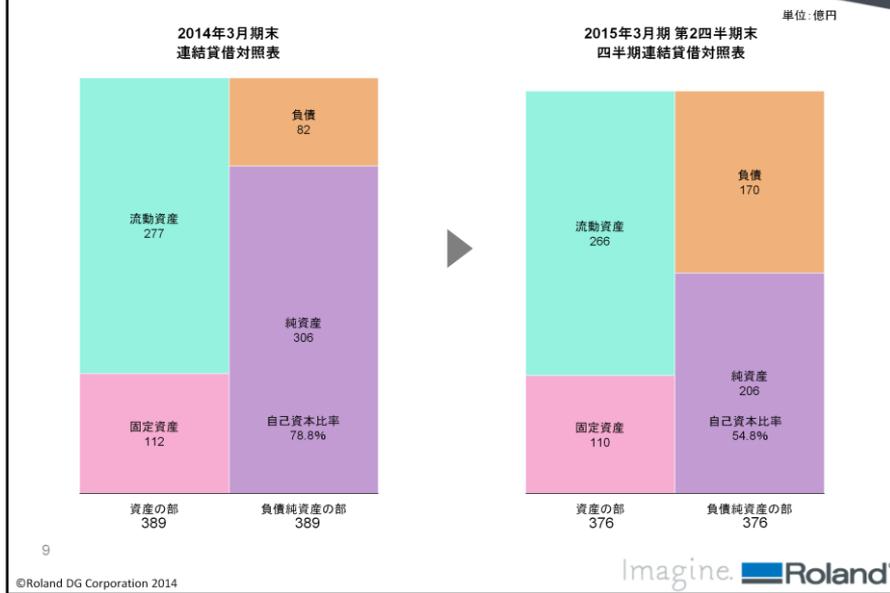
# 連結貸借対照表

©Roland DG Corporation 2014

Imagine.  Roland®

続いて、連結貸借対照表についてご説明いたします。

## 自己株式買付及び消却による連結B/S変動

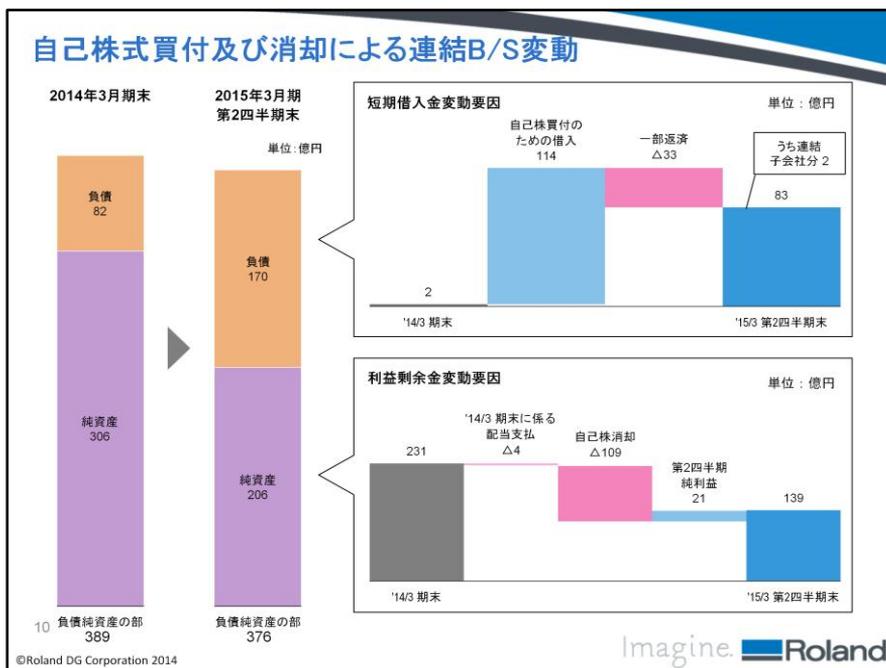


当上期には、ローランド株式会社が保有していた当社株式のうち356万株の買付けを行いました。

結果として、スライドにありますように、前期末から連結貸借対照表の構成に大きな変動が生じております。

買付のための借入れや取得した自己株式の大半を消却したことにより、自己資本比率は、前期末の78.8%から当第2四半期末は54.8%となりました。

次のスライドで簡単に経緯をご説明いたします。



スライドは負債純資産の部を取り出して、その主な変動要因を示したものです。

まず、今年7月にローランド株式会社から356万株の自己株買付けを行い、買付資金として114億円を銀行より借入れました。その後、一部を返済し、第2四半期末の借入金残高は、連結子会社分2億円を含め、83億円となっています。

一方、純資産の部では、取得した自己株式356万株のうち341万株余りを9月に消却したことで、利益剰余金が減少しております。

なお、借入金につきましては、3年から5年で返済していく予定であり、今後の事業運営や配当方針、財務の健全性は維持できると考えております。

## ‘14年3月期末と’15年3月期第2四半期末の比較

	‘14/3 期末	‘15/3 第2四半期末
発行済株式総数(株)	17,800,000	14,385,511
自己資本(百万円)	30,676	20,649
自己資本比率	78.8%	54.8%
1株当たり純資産 BPS(円)	1,723.45	1,450.15
1株当たり当期純利益 EPS(円) (※ 通期予想)	239.64	283.10※
ROE (※ 通期予想)	15.4%	16.8%※

11 ※ 通期予想参考値  
当第2四半期末時点で想定される数値を使用

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. 

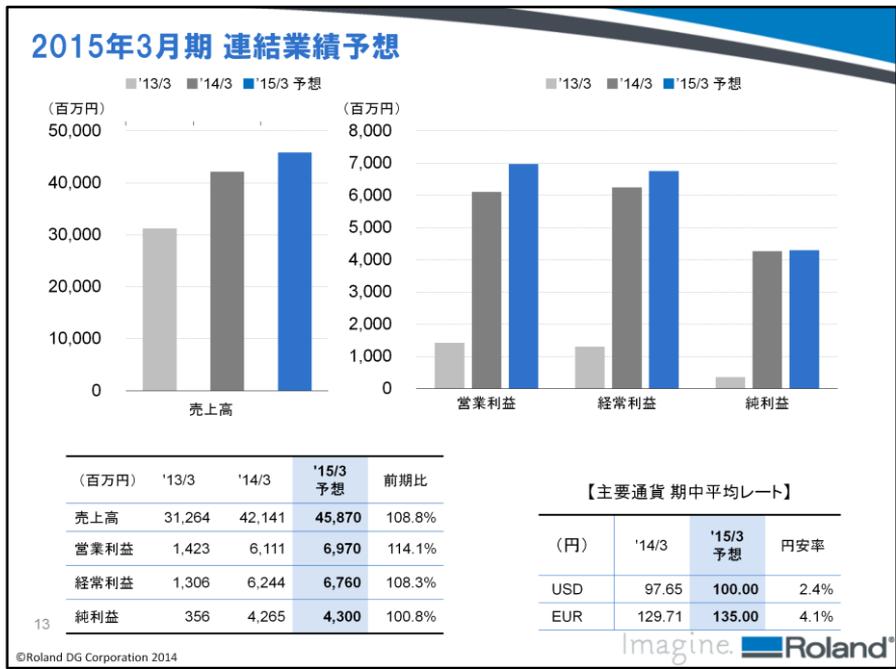
これら一連の資本の異動にともなう、主な指標などをしています。  
EPS、ROEに関しましては、当上期の実績をベースに株式給付信託の設定を前提として、通期予想として算出していますので、参考値としてご覧ください。

# 2015年3月期 通期 連結業績 予想

©Roland DG Corporation 2014

Imagine.  Roland®

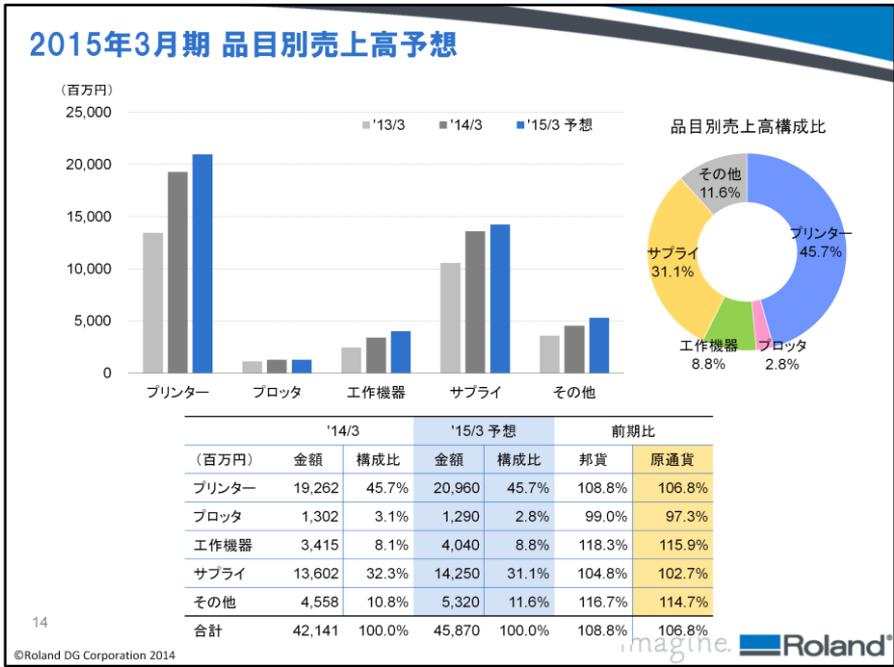
次に、2015年3月期 通期の連結業績予想について  
ご説明いたします。



通期の連結業績予想につきましては、今年5月の本決算発表の際に公表した予想に変更はなく、

売上高	458億70百万円	前期比 108.8%
営業利益	69億70百万円	〃 114.1%
経常利益	67億60百万円	〃 108.3%
当期純利益	43億00百万円	〃 100.8%

を見込んでおります。

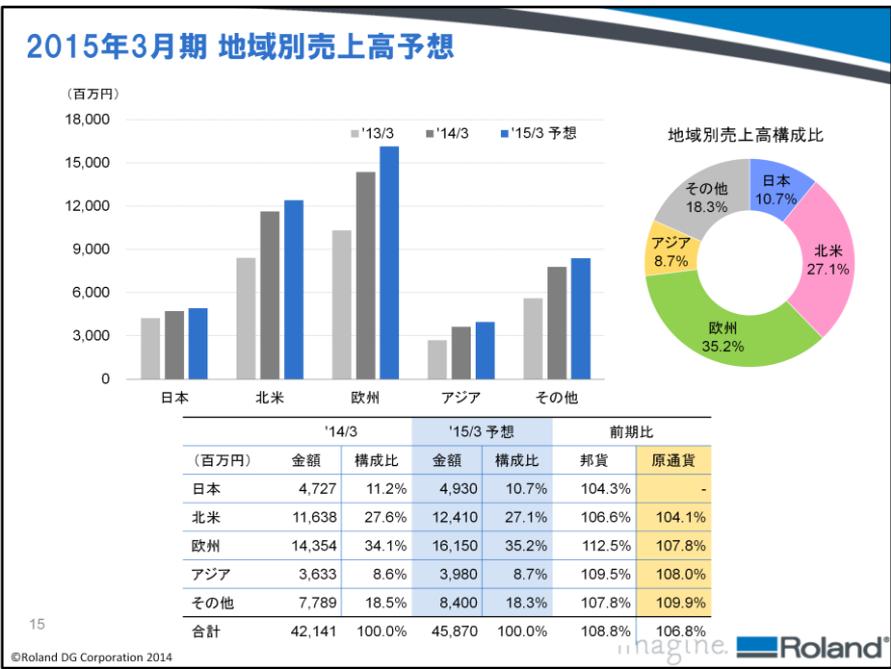


品目別売上高予想ですが、

プリンターでは、主力のサイン市場において競合他社との競争環境が厳しさを増してきておりますが、昨年10月にモデルチェンジしたスタンダードの主力機種やUVプリンター、後ほどご説明するサイン市場以外への販売拡大により、増収を見込んでいます。

工作機器では、販売エリアが順調に拡大しているデンタル加工機が主な牽引役となります。また、今年の9月に発売した小型切削加工機および3Dプリンターの新製品は、世界各地でプロモーションを展開している段階で、業績への本格的な貢献は、来期(2016年3月期)以降になると予想しております。

サプライは、プリンターの伸長と同様に、増収を予想しています。



地域別売上高予想ですが、すべての地域で増収を予想しております。

北米や欧州では、サイン市場の競争は激しくなっておりますが、ギフト市場やテキスタイル市場など用途の拡大により、増収を目指してまいります。

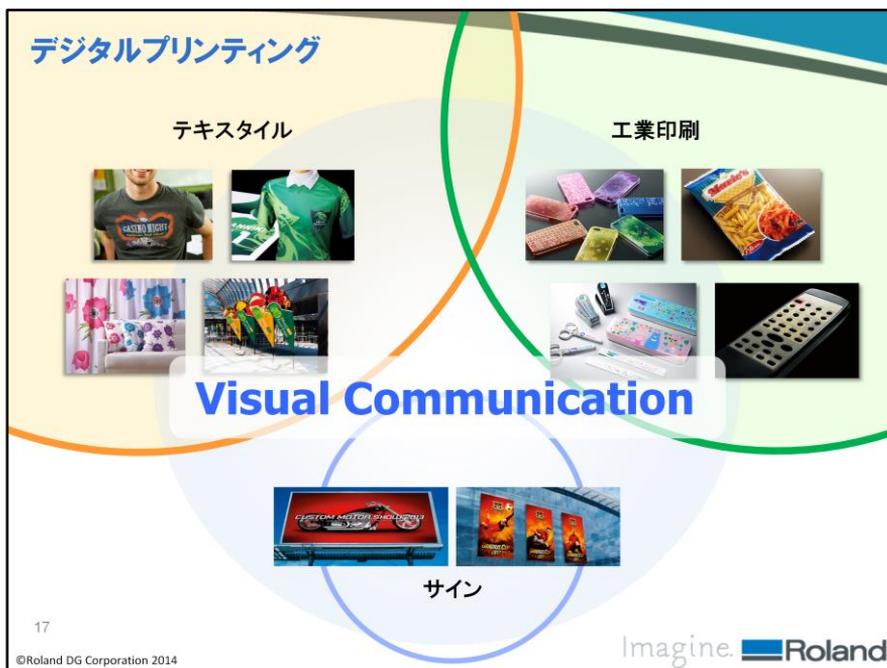
またアジアやその他地域は、現地代理店への日本からの直接販売から、当社の販売子会社経由へと商流を再編したことで、マーケティングやプロモーションの強化に成果が表れてきており、引き続き販売拡大を目指します。

# カラー分野

©Roland DG Corporation 2014

Imagine.  Roland

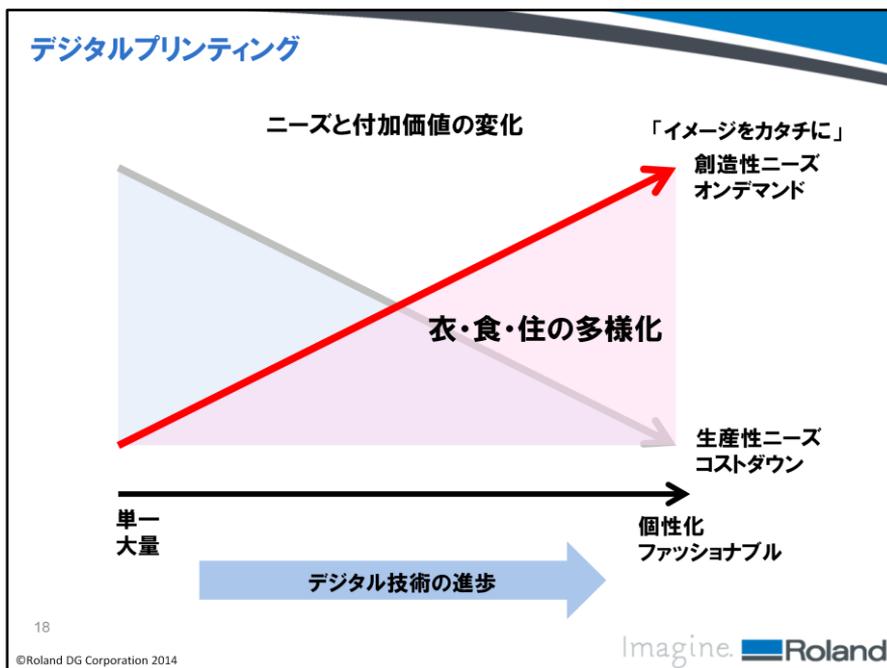
続いて、事業の状況についてご報告いたします。  
はじめに、インクジェットプリンターのカラー分野です。



当社は、業務用インクジェットプリンターで、デジタルプリンティングの用途開発を行なっています。

サインは、完全な受注生産の業界であることに加え、ビニールシートと溶剤インクの組み合わせが屋外広告に最適なソリューションであったため、「インクジェットプリンティング」すなわち「デジタルプリンティング」が最初に開花した市場となりました。

また、サインの周辺においても、顧客の感性に働きかける「ビジュアルコミュニケーション」の重要性が高まっています。多彩な色や画像を用いたインクジェットのビジュアルな表現力で、オリジナルTシャツやスマホケースなどのオンデマンド用途や、パッケージ試作、工業デザインニーズを掘り起こし、さまざまな高付加価値ビジネスを創出しました。



デジタルプリンティングへのニーズは、大きく、「創造性(表現力)」へのニーズと生産性」へのニーズに区分されます。

当社は、「イメージをカタチに」のビジョンを掲げる通り、デジタル技術を人間の創造性に役立てることを目的に、事業展開してまいりました。

個性化の流れの中で、個人がどんどんファッショナブルに変わっており、デジタルプリンティングの「創造性」や「オンデマンド性」が“衣・食・住”という、人間の生活そのものを豊かにしていくと考えています。

その方向性と具体的ソリューションを探るべく、昨年、テキスタイル事業部、インダストリアル事業部を立ち上げ、専任チームで市場の研究を進めてまいりました。

## 昇華転写印刷専用インクジェットプリンター

ファッションな表現や個性化のニーズに、  
高付加価値デジタルプリンティングソリューションを提供



NEW (2014年12月~)

**Texart RT-640**

**ergosoft**  
rip solutions

オレンジ・バイオレットを加えた8色インクで鮮やかな発色  
業界最高水準の印刷速度(エントリーレベル比較)  
大容量インク供給システム  
ErgoSoft社製 出力用ソフトウェア



19

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. **Roland**

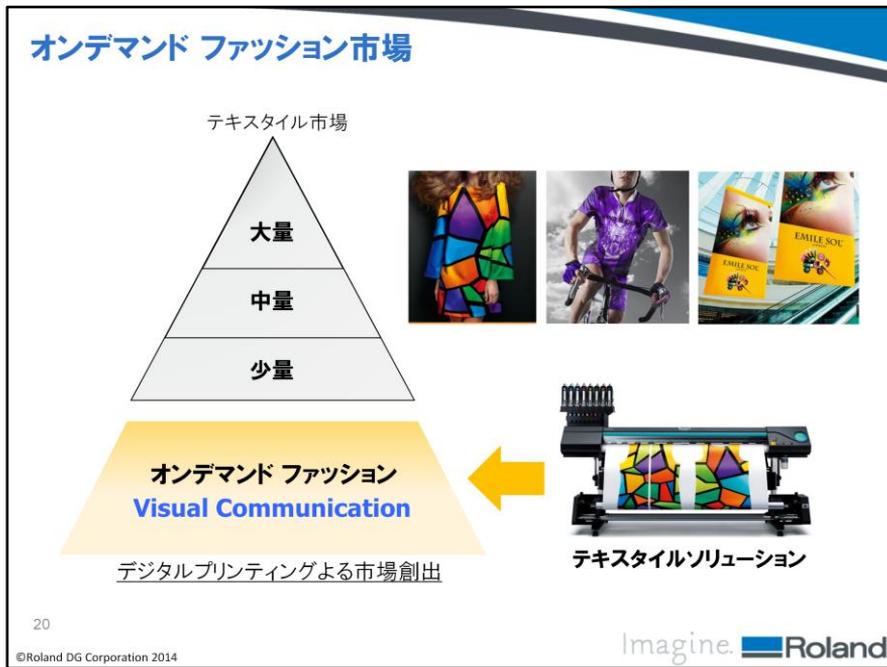
先月、衣服やインテリア用品などファッション デザインのテキスタイル分野に向けて、昇華転写プリンター「Texart(テックスアート)RT-640」を発表いたしました。

昇華転写方式は作業の専門性を必要とせず、デザインを思いのままポリエステル生地に転写できるため、こだわりの色表現や小ロット印刷に最適です。

また、RT-640では、オレンジやバイオレットを取り入れた8色の色域の広いインクを開発し、長時間の印刷が可能な大容量のインク供給システムを採用しました。RIPソフトには、テキスタイル業界で高品質が認められている、スイスのエルゴソフト社が当社専用開発した「エルゴソフト・ローランド・エディション」をセットして、業界標準以上の機能を提供いたします。

RT-640は、プロフェッショナルの仕事をワンパッケージにして、ユーザーのアイデアを即座に実現できる付加価値の高いソリューションに仕上げました。

先月末にアメリカやイタリアの展示会で披露したところ、高い画質に大きな反響を得ることができました。北米・欧州は2014年内に、そのほかの地域は2015年以降の発売開始を予定しています。



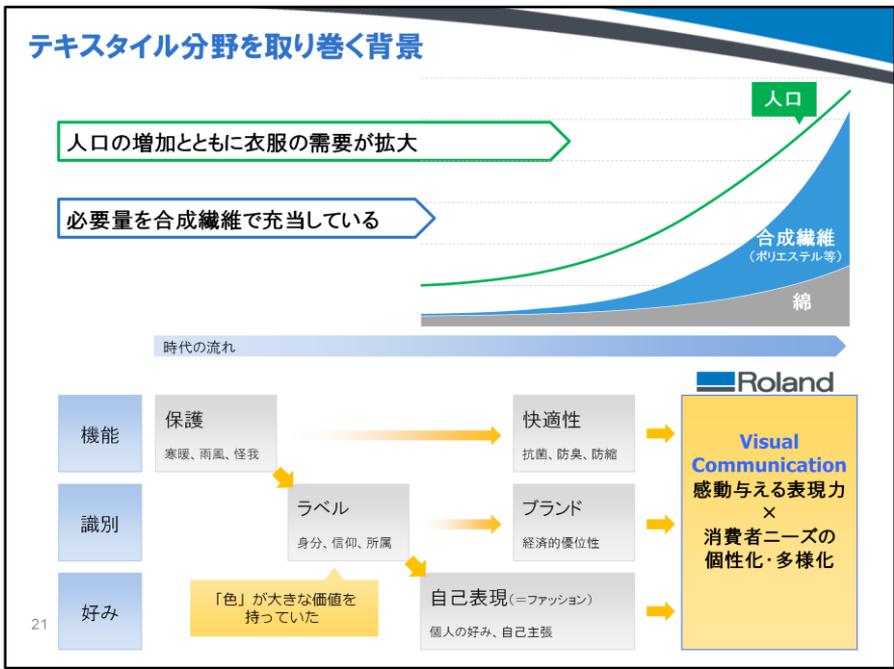
テキスタイル市場は、「捺染」と呼ばれる方式で、主に一つのデザインを大量に印刷するトラディショナルな市場です。

近年、テキスタイル市場でも、ニーズの細分化により、顧客の求めるものを、必要な時に必要な量だけ印刷するニーズが急速に増加しています。

これらのオンデマンドニーズに加え、トラディショナルな印刷では難しかった布への繊細なグラデーションや写真画像の表現も、デジタルプリンティングの技術で可能となりました。

当社は、ソフトサインやスポーツアパレル、Tシャツ製作などにおいて、約20年前からテキスタイルソリューションを提供してきた実績があります。

今回、専用モデルのRT-640によって、高画質で表現力豊かなローランドの「デジタルテキスタイルプリンティング」を示し、市場でのポジションの確立につなげてまいります。



テキスタイル市場をさまざまな側面からみてみますと、昇華転写によるオンデマンド印刷の必然性が浮かび上がってきます。

現代においては、個人の好みを反映する自己表現＝ファッションとしての意味が重視されるようになり、  
また、今後は、人々の色やデザインに対するこだわりは、さらに多様化・個性化し、他人とは違う、自分だけのファッションへのニーズが高まっていくと思われます。

当社では、こうした市場の変化・ニーズに対し、優れたビジュアル表現で人々に感動を与えるファッションアイテムの制作を可能にするワンパッケージソリューションを提供し、これまで培ってきたビジュアル・コミュニケーションのノウハウを活かしながら、テキスタイル市場における新たなビジネスの創出に取り組んでまいります。

## 工業印刷分野:UVプリンター



LEF-20



LEF-12

使いやすく安全、洗練されたコンパクト設計を追求  
少量プリント、オンデマンドプリント用途に  
店頭やオフィスでの活用を促進



ご参考: The Kase, France  
(The Kaseホームページより)



Visual Communication



22

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. Roland

また、インダストリアル分野のUVプリンターでは、  
2013年10月に発売した卓上型LEFシリーズが、スマートフォンケースの印刷用途で  
順調に売り上げを伸ばしました。

大量少品種のトラディショナルな工業印刷の分野においても、需要の細分化の流れの中で、オンデマンドや少量多品種印刷へのニーズが増えています。  
スマホケースへの加飾に加え、ポータブル家電やスポーツ用具、日用品などへも  
ダイレクトプリントでオリジナル装飾を加え、自分らしさをアピールするケースが見られるようになってきました。

今後もさまざまな素材への対応力を上げ、ビジュアルコミュニケーションの広がりを  
ビジネスチャンスに変えていきたいと思えます。

# 3D分野

©Roland DG Corporation 2014

Imagine.  Roland

3D分野では、メディカル分野と新たなデジタルものづくりを提案する「monoFab」の取り組みについて説明させていただきます。

## メディカル分野:デンタル素材対応力を強化

### ハイブリッドレジンに求められるソリューション開発にいち早く着手

ハイブリッドレジンの健康保険適用(日本)

ハイブリッドレジン加工用のエンドミル開発

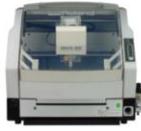
VITA社の適合認定



ハイブリッドレジン



ミリングバー



DWX-50

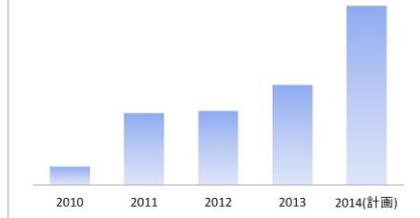


DWX-4

24

©Roland DG Corporation 2014

デンタル加工機 販売台数推移



Imagine. Roland

まず、メディカル分野についてです。

デンタルでは新たな歯科用素材の開発により、デジタル化が着実に進んでまいりました。

日本では、強度と審美性に優れたハイブリッドレジンが健康保険の適用となり、これらの素材を切削できるデンタル加工機の販売が急速に伸びました。

当社では、今年の6月にハイブリッドレジン加工用のエンドミルの開発に成功し、9月にはドイツのVITA社から素材加工の適合認証を取得することができました。

VITA社は、世界の歯科技工所で最も使われているハイブリッドレジンメーカーです。

これにより、世界各地の歯科技工所へ当社の加工機が導入される可能性がさらに広がりました。

歯科業界におけるデジタル化への関心は世界各地で高まっています。

欧米や日本の先進国に加えて、中国やブラジルなどの新興国でも販路の開拓が進み、さらに南アフリカでも今後デンタルラボを開設するなど、グローバルな展開により、事業拡大を加速させてまいります。

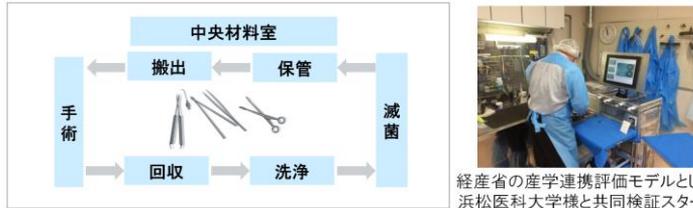
## メディカル分野:手術器具のトレーサビリティ管理

患者の安全や器具の品質管理、適正な在庫資産管理を提案

手術鋼製器具にメタルプリンターで2次元コードを打刻、トレーサビリティ管理



器具のピッキングや洗浄・滅菌工程に、デジタル屋台システムを応用した支援システムを提案



経産省の産学連携評価モデルとして  
浜松医科大学様と共同検証スタート

25

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. Roland

また、メディカル分野では、デンタルだけでなく、医療器具へのマーキングの提案もおこなっています。

当社のメタルプリンター技術を応用して、メスや鉗子(かんし)といった鋼製器具に2次元コードを刻印し、使用履歴や品質、在庫を管理するシステムです。

加えて、当社の生産システム「デジタル屋台」の仕組みを活かし、手術の準備や医療器具の洗浄、滅菌作業を支援するシステムを開発しました。

浜松医科大と協同で検証をスタートし、この度、経済産業省の産学連携評価モデルの実証事業に認定されました。

実用化の目途もつき、今後、日本の他の病院および海外での展開も視野に、メディカルの新たな柱として展開していきたいと考えています。

## monoFabシリーズ 立ち上げ

monoFab:デスクトップでの新たなデジタルものづくりを提案



26

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. 

次に、新たなデジタルものづくりについてですが、今年9月に、3Dの新たな製品カテゴリーとして、デスクトップでの新たなデジタルものづくりを提案する「monoFab(モノファブ)」シリーズを立ち上げるとともに、当社初の3次元積層造形機「ARM-10」と、新開発の3次元切削加工機「SRM-20」の2機種を発表・発売しました。

ARMは、UV-LEDを使った光造形方式によるデスクトップサイズの3次元積層造形機、いわゆる3Dプリンターです。

文房具や小物家電のデザイン試作や機能部品の設計、フィギュア製作などに使え、空洞のある複雑な形状の樹脂成型が簡単にできる機械です。

一方、SRMは切削方式によるデスクトップサイズの3次元加工機で、幅広い素材への高精度な加工ができるのが特徴です。

デジタルデータを活用し、これらの機器を組み合わせることで、今までになかったデザイン表現をデスクサイドで簡単に行なえるようになります。

## monoFabシリーズ 立ち上げ

東京クリエイティブセンターで発表イベントを開催



27

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. **Roland**

これら2機種の発売にあたっては、東京クリエイティブセンターで発表イベントを開催し、当社初の3Dプリンターを大々的にプロモーションしました。

イベントには、メディア関係の方々にお越しいただき、広く市場に発信していただきました。

また、発表、発売後には、主に設計やデザイン分野といったモノづくりの上流エリアのお客様から、用途や具体的な使い方について多くの問い合わせをいただいています。

今後は、さまざまな分野のユーザーにとって実用性の高いツールとなるように、クリエイティブセンターでの用途提案とサポート機能を強化いたします。

<ご参考: monoFabに対する顧客の主な反応>

- ・熱溶解の低価格帯のものでは満足できなかったが、これならしっかり使えそう
- ・これまでは海外製のものが多かったが、信頼性の高い日本メーカーのものがやっと出てきた
- ・製品のデザインが良い
- ・積層と切削の両方があるので、改めて切削の良さを再認識した(3Dプリンターではできないことがある)
- ・ライノセラスの販売店から取り扱いたいとの要望が多くある

## 第10回 世界ファブラボ代表者会議(Fab10)



2014年7月2~8日 スペイン

28

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. 

当社では、デジタルものづくりの市民工房として世界50カ国以上250ヶ所以上の拠点をもち、ものづくりのグローバルコミュニティを形成しているFABLABに協賛しています。

昨年、横浜で開催された世界大会に続き、今年の7月にスペインのバルセロナで行なわれた世界ファブラボ代表者会議にもゴールドスポンサーとして参加しました。写真は、その様子です。

一方で、デジタルものづくりの定着に向けた活動も行なっています。

日本ではクリエイティブセンターを活用して、顧客の要望に合ったものづくりを提案するmonofab相談会や、デジタルものづくりの第一人者を招き、高度なものづくりに関するセミナーを開催しています。

幅広い継続的な活動によって、3Dプリンターの実用化を推進し、事業成長の基盤強化を進めます。

## Roland Creative Center in UK



29

©Roland DG Corporation 2014

Imagine. Roland

当社では、世界66箇所で展開する「ローランドクリエイティブセンター」に、最新の提案用途や顧客事例を集めて、情報発信しています。

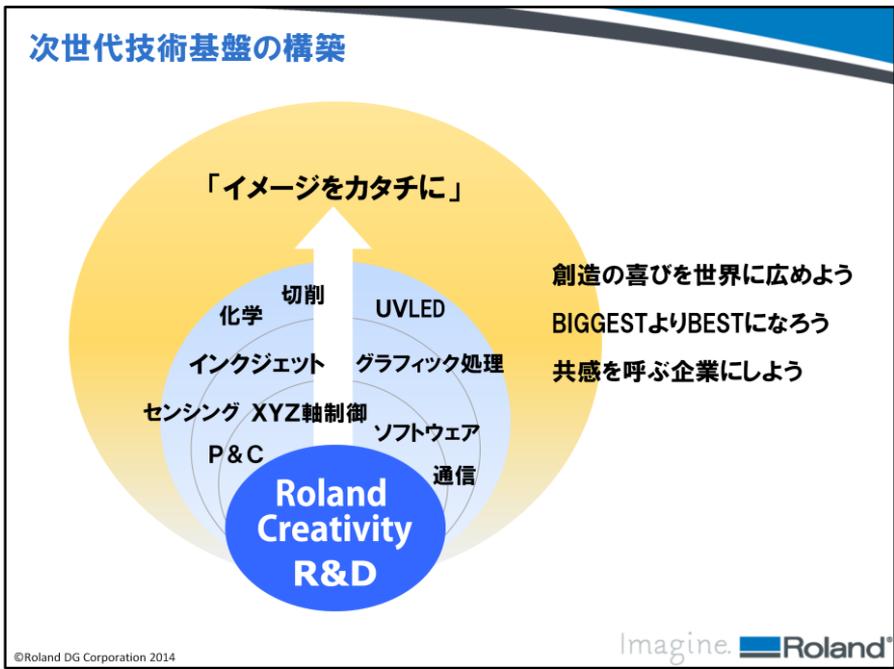
スライドは最近改装されたイギリスのクリエイティブセンターですが、数多くの実例が展示されています。

また、併設する「ローランドアカデミー」は、その作り方を教授して、ビジネス発展を支援する機能です。

当社のユーザーは、新たな価値を創造し発信するクリエイターであり、デジタルプリンティングやデジタルものづくりの広がりを牽引するのは、ユーザーの創造性だと考えています。

クリエイティブセンターは全て、販売子会社によって現地ニーズを反映し、企画・運営されていますが、

グループ全体で、ユーザーの感性を掻き立て、付加価値の高い市場の創造に取り組んでまいります。



やはり、成長の核となるのは研究開発力です。  
個性化が求められ、多様性が進む、可能性に満ちた市場で、  
「イメージをカタチに」をさらに推進していくには、一段の技術革新が必要です。

この度、R&Dは構造改革をおこない、新たなスタートを切りました。  
新体制のもとで、Inkjetやデジタルプリントの基礎技術強化に注力し、広がる可能性に柔軟に対応できる、次世代の技術基盤の構築を進めてまいります。

R&Dは当社のCreativityそのものであり、感性と創造性に根差した製品開発が新たな市場を切り開くものと考えています。  
次世代に向けて技術基盤を強化し、一層、感性と創造性に満ちたRolandソリューションを打ち出してまいります。

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点(2014年11月10日現在)で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります

Imagine.  Roland®

ローランド ディー.ジー.株式会社

31

©Roland DG Corporation 2014

Imagine.  Roland®

以上でご説明を終わらせていただきます。  
ありがとうございました。